

Comando G

コマンド ジー

品質への飽くなき拘りを感じさせるピュアでエレガントなガルナッチャ



～コマンド G はスペインで最もエキサイティングなワイナリーの一つ(ワイン・アドヴォケイト)～

かつてのプリオラートのような勢いを感じさせる卓越したグルナッシュの産地、スペインのシエラ・デ・グレドス(シエラ山脈)。この地域で、世界トップクラスのガルナッチャを手掛けているのがコマンド G です。これまでにワイン・アドヴォケイトやジェームス・サックリングで 100 点を幾度も叩き出してきたコマンド G のワインは、その実力の高さから注目を集めています。

コマンド G は、醸造家ダニエル・ゴメス・ヒメネス・ランディとフェルナンド・ガルシアの共同出資により、DO ビノス・デ・マドリッドに 2008 年に設立されました。ふたりの出会いは 2005 年、マドリッド大学で醸造学を学んでいた頃でした。当時は、各自が別々のワインプロジェクトに取り組んでいましたが、醸造哲学やワインの好み的一致で意気投合したふたりは、すぐに共同プロジェクトを立ち上げることを決めました。彼らは、コマンド G を設立するにあたり、ブドウの育つ土地、風景、畑のアイデンティティを反映したワイン造りを目指してきました。この目標を達成する手段として選ばれたのが、グレドス山脈の高地に育つ極めて樹齢の古いガルナッチャの畑です(コマンド G は、ガルナッチャの「G」)。テロワールの忠実な表現に拘って生み出されるコマンド G のガルナッチャは、フレッシュでピュアな果実味が際立つエレガントなスタイルを特徴とします。

ワインは、ブルゴーニュの格付け制度にあやかり、リージョナル(AOC ブルゴーニュに相当)、ヴィラージュ、プルミエクリュ、グランクリュの 4 つに格付けされています。自社畑は、グレドス山脈で最も険しい地形と厳しい自然条件を持つ地域にあり、海拔 900～1200 メートルの地帯の山間の斜面に位置し、畑によっては、極めて急勾配で畑仕事は困難を極めます。耕作は主にラバを使いますが、場所によっては手作業のみで耕作します。樹齢は 60～90 年で、中には接ぎ木をしていない自根の古木もあります。栽培手法は、有機・ビオダイナミ栽培を実践。醸造は手作業主体の伝統的手法を守り、人の手による干渉を最小限に抑えています。

■テクニカル情報■ ワイナリー所在地: スペイン内陸部カスティーリャ・イ・レオン州シエラ・デ・グレドス 栽培: 有機・ビオダイナミ栽培
畑面積: 計 15ha 畑の標高: 900-1200m 樹齢: 60-90 年 収穫: 手摘み 発酵: 100%ホールパンチ、40-60 日間に及ぶ長期間のマセラシオンを行い、木桶を使い天然酵母で自然発酵 熟成: 使い古した小樽、ドゥミ・ミュイ、フードルまで様々なサイズの樽やアンフォラ、コンクリートタンク等を使用。

《ワイン・アドヴォケイト 2024/11/22 掲載記事より抜粋/記者: ルイス・グティエレス》 2022 年(地中海性気候の特徴が顕著に表れた力強いヴィンテージ)と 2023 年(エレガントでフレッシュ、かつ正確さを備えた冷涼なヴィンテージ)のワインをテイステイングした。2022 年はシングルヴィンヤード、エル・レベントンの最後のヴィンテージで、新たにブドウの樹を植え、新しいワイナリーの建設を開始した年でもある。2023 年は、真新しいワイナリーで醸造された最初のヴィンテージとなった。2024 年は、さらに進展があり、植樹は続けながらも、リージョナルワインを減らし、購入したブドウを中心にヴィラージュワインを増やしている。現在、ルンボ・アル・ノルテ近隣の自分たちの畑を整備しているところだ。また、彼らは、グレドスで新規プロジェクトを立ち上げ、この地域にワイン造りに携わる人材を呼びこむ必要があると考えている。DO セブレロスには、現在わずか 400ha のブドウ畑しかなく(過去 5 年間で新たに 42ha の土地にブドウが植樹されたものの、それ以前の 40 年間は全く植樹が行われていなかった)、昨年、実際生産されたのは 150ha 分に過ぎない。グレドス地域の発展は、今や喫緊の課題となっている。

2022・2023 La Bruja

上代価格 ¥6,000 (税抜)

ラ ブルハ

JAN: 4543190305853

コマンド G のエントリーレベルでありながら、2012 年以来、パーカーポイント 90 点以上の高評価を獲得している実力派ワイン。2022 ヴィンテージより、ヴィラージュからリージョナルワインに変更になりました。

【辛口/赤】 品種: ガルナッチャ 100% 標高: 850-1,000m Alc.14%
2022VT: 生産本数: 56,487 (750ml) 瓶詰: 2023 年 8 月 (D.O. ビノス・デ・マドリッド)
2023VT: 生産本数: 40,943 本 (750ml)、500 本 (1.5L) 瓶詰: 2024 年 8 月 (D.O.P. セブレロス)

2022VT★パーカーポイント 94 点: 2022 年ラ・ブルハに変更があった。もはやロサス・デ・プエルト・レアル産のヴィラージュワインではなく、リージョナルワインとなった。2023 年もリージョナルワインだが、アベラ産(アベラシオン・セブレロス)となる。瑞々しさを湛えた香り高いガルナッチャで、まさにコマンド・G のスタイルを体現したワイン。よく熟していて、2020 年のスタイルにより近い。ミディアムボディ。熟度が高く、花崗岩由来の繊細な質感を伴う爽やかなフィニッシュが印象的。この年はマセラシオンを控えめにし、果皮の量を少なめにして発酵させた。とても親しみやすい果実主体の表現力豊かなブルハは、モルゴンのワインを彷彿とさせる。《飲み頃: 2024-2029 年 | 2023/12/8 掲載》



担当: @millesimes.co.jp

株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801 Fax.03-3295-5619

Millésimes

2023VT★パーカーポイント 95 点:2023 年のラ・ブルハは、マドリド産ではなく、100%セブレロス産となった。そのため、生産本数が減り、2024 年はさらに少ない(20,000 本)。このワインは、2021 年を肉付き良くしたよりジューシーな味わいで、還元的ではないものの、石を思わせるニュアンスがあり、繊細なストラクチャーを備えている。よく熟した味わいで、香りと味わいが徐々に開いていき、花や赤果実、ハーブのクリーンなアロマが広がっていく。見事なフレッシュ感と酸を備え、バランスの良いエレガントなワインに仕上がっている。
《飲み頃:2024-2032 年 | 2024/11/22 掲載》

2023VT★ジェームス・サックリング 93 点:赤果実や鉄の香りに焼いたグレープフルーツ、燻したハーブのニュアンスが香る。しっかりとミディアムボディで、チョーキーなタンニンがあり、ハーブやレッド・ベリー風味を持つ。非常に親しみやすい味わい。今が飲み頃。
《2024/9/30 掲載》

2023 Villanueva

ビリャヌエバ

上代価格 ￥10,000 (税抜)

JAN: 4543190306133

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 畑:ビリャヌエバ(アビラ/D.O.P. セブレロス)
標高:1,000m 生産本数:3,972 本 2024 年 8 月瓶詰 Alc.13.5%

★パーカーポイント 96 点:非常に素晴らしい出来栄。芳醇なアロマを持ち、フローラルなニュアンスにミネラルが感じられる複雑でエレガントな完成度の高いワイン。長い余韻が印象的。シャンボール・ミュージーの赤を彷彿とさせるノーズ。瓶詰めまで亜硫酸塩未使用で、緻密さと個性的なスタイルがバランス良くまとまっている。スイカやローズヒップ、ハイビスカスを思わせる繊細なアロマとともに濡れた花崗岩のような力強いミネラルを感じる。焦点の定まったエネルギーを持つ。非常にコストパフォーマンスの高いワインと言えるだろう。《飲み頃:2024-2036 年 | 2024/11/22 掲載》



★ジェームス・サックリング 95 点:非常に繊細で優美なアロマを持ち、植物や朝鮮人参、スモーク、アガベ(リュウゼツラン属)、エルダーベリー(セイウニワトコの実)、チョーク、ブラッドオレンジのニュアンスが香る。口当たりは、まろやかでしなやか。繊細な柑橘の風味にハーブやベリーのニュアンスが溶け合う。ややチョーキーなタンニンを備えた非常に洗練された味わい。淡い色合いの優美なワインで、抗いがたい魅力を放つ。今から美味しく味わえる。《2024/9/30 掲載》

2022 Rozas

ロサス

上代価格 ￥10,000 (税抜)

JAN: 4543190305884

年ごとに様々な表情をみせるロサス・デ・プエルト・レアル村のヴィラージュワイン。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 産地:畑:ロサス・デ・プエルト・レアル村の 5 つの区画(ヴィラージュワイン/ D.O.ピノス・デ・マドリッド) 標高:900m 生産本数:10,992 本 2023 年 8 月瓶詰 Alc.14.5%

★パーカーポイント 95 点:ロサス・ブルミエ・クリュは 2022 年からヴィラージュワインに変更となった。ロサス・ブルミエ・クリュ用に使用されてきた区画のうち、2012 年から手掛けてきた最良の 5 区画を厳選。暖かい年であったため、過熟感や黒果実のニュアンスを避けるべく、マセラシオンは控えめにし、果皮を入れずに発酵するなど優しい醸造を心掛けた。このワインは果実味豊かで、2022 年のように地中海性気候の特徴が顕著に表れたイタリア産ワインにみられる細やかなタンニンを持つ。この村は、年による気候の影響を受けやすく、涼しい年は、よりハーバルな繊細で優美なワインになり、暖かい年は、果実味溢れるしっかりとタンニンを備えたワインに仕上がる。アルコール度数 14.5%で陽気さを感じさせるものの、決してありきたりなスタイルではない。《飲み頃:2024-2032 年 | 2023/12/8 掲載》



2019・2020・2021 Rozas 1er Cru

ロサス プルミエクリュ

上代価格 ￥13,000 (税抜)

JAN: 4543190306157

2022 年からヴィラージュワインに変更になる前の希少なブルミエ・クリュ。
最良区画のみで造られる上質な味わい。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 産地:畑:ロサス・デ・プエルト・レアル村(D.O.ピノス・デ・マドリッド) Alc.14%前後 2019VT:生産本数:5,195 本 2021 年 6 月瓶詰
2020VT:生産本数:13,186 本 2022 年 1 月瓶詰 2021VT:生産本数:14,761 本 2023 年 2 月瓶詰

2019VT★パーカーポイント 94+点:2019 年ロサス・ブルミエ・クリュはグラスに注いだ時点では、ややシャイな印象だった。しかし、時間とともにロサス特有のフローラルなアロマが広がっていく。2015 年や 2017 年のような他の温暖なヴィンテージに比べて、よりタイトで、スイートスパイスや透き通ったレッドベリーのニュアンスが香る。雨が上がるのを待ち、10 月に収穫を行った。雨の後の収穫は困難を極め、状態の良いブドウを選別し、ある程度の量を捨てなければならなかった。この年は、熟成期間が長く、コンクリートタンクで 6 ヶ月熟成させた後、タンニンを滑らかにするため、オークの大樽で 1 ヶ月熟成させた。優美なスタイルだが、しっかりと風味と余韻を持つ。暖かい年は、より長く熟成させる必要がある。
《飲み頃:2022-2027 年 | 2021/11/12 掲載》



2019VT★ジェームス・サックリング 96 点:赤スグリやメロン、ザクロ、レモン、ローズマリーを思わせる香り高いガルナッチャ。ミディアムボディで、きめ細やかなタンニンと生き生きとした酸を持つ。鮮やかでピュア。豊潤で肉付きが良く、しなやかな強さがある。バランスの良い繊細な味わい。スパイシーさを伴う風味豊かな余韻がどこまでも続く。今から楽しめるが、1、2 年寝かせるとさらに魅力が増すだろう。《2021/9/9 掲載》

2020VT★パーカーポイント 95 点:2020 年ロサス・ブルミエ・クリュには、暖かい年(2019 年、2017 年、2022 年)にはブレンドされない畑のブドウが使用されている。冷涼な年(2021 年、2020 年)にはこの畑のブドウがブレンドされる。COVID-19 の影響を受け、2020 年はイベントや出張がなかったため、彼らは、これまで以上に畑仕事に専念することができた。バラの花びらを思わせるフローラルなニュアンスと花崗岩由来の厳格な味わいが見事な調和をみせる。収穫直前の数日間、気温が上昇したため、2018 年や 2016 年よりもややふくよかな仕上がりだ。ロサス地区特有のシルトや鉄を思わせるテクスチャーがワインをしっかりと引き締めている。《飲み頃:2023-2032 年 | 2023/7/1 掲載》

2020VT★ジェームス・サックリング 95 点フレッシュで軽やかな赤果実のアロマに心地よいハーブが香る。ホワイットペッパーやワイルドストロベリー、ジビエ、リコリスのニュアンスも漂う。口に含むと、グレープフルーツの皮やザクロを思わせるキレのある鮮やかな酸が広がる。タンニンもしっかりしているが、非常にシルキーで生き生きとした質感を備えていて、とても親しみやすい。今が飲み頃。《2022/10/14 掲載》

2020VT 他誌評価:★ギア・ペニン 92 点

2021VT★パーカーポイント 95 点:ロサス・ブルミエ・クリュは 2021 年が最後のヴィンテージで、2022 年から変更になる。この赤には、ロサス・デ・プエルト・レアル村のリュウ・ディ(小区画)にある、これまでと同じ区画のブドウが使用されているが、この年は冷涼なヴィンテージとなった。全房発酵でマセラシオンは長めに行い、優しく抽出し、大容量のオーク樽で 1 年熟成させた。冷涼な年の特徴が表れたシリアスで厳格なワインに仕上がっている。ミネラル感のある引き締まったシャープな味わいながらも、最適な熟度に達したブドウを使用しているため、風味豊か。アルコール度数は 14 度。時間とともに、ローズを思わせるような肉っぽいニュアンスを帯びていく。タンニンは、非常にきめ細やかで洗練されていて、暖かい年よりも丸みがある。卓越したワイン。《飲み頃:2024-2032 年 | 2023/12/8 掲載》

2021VT★ジェームス・サックリング 95 点グレープフルーツやブラッドオレンジの爽やかなアロマに地中海エリアのハーブやホワイットペッパーが仄かに香る。花や仄かなワイルドベリーのアロマがあるものの、非常に繊細。しっかりとしたチョーキーなタンニンを備えた味わいで、上質なベリーの風味が広がる。余韻は長く、非常に引き締まっているが、シリアス過ぎることはない。この上なく美しい。すでに抗えない魅力を放っているが、熟成ポテンシャルを秘めている。《2023/7/20 掲載》

2022 Peña La Mora 1er Cru

ペーニャ ラ モラ プルミエ クリュ

上代価格 ￥20,000 (税抜)

JAN: 4543190305907

標高 1200m のエル・タンボリルの区画が生み出す果実の凝縮感とミネラルを備えた力強い味わい。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 畑:ペーニャ・ラ・モラ・プルミエ(ナバタルゴルド エル・タンボリルの区画/D.O.P. セブレロス) 標高:1,200m 栽培面積: 1.17ha 土壌:花崗岩 生産本数 4,239 本 2024 年 5 月瓶詰 Alc.14.5%

★ジェームス・サックリング 96 点: グレープフルーツやミネラル、ベリーのアロマに心地よいペッパーのニュアンスが香る、快活でやや華やかなスタイル。コマンド G の他のクリュのよりも深みのある色合いで、エル・タンボリルの赤に近い。肉付きの良い贅沢感のある洗練された味わいで、瑞々しい後味にミネラル感やしっかりとしたタンニン、チョーキーさを感じる。ピュアで生き生きとした余韻がどこまでも続く。今飲んででも熟成させても美味しく味わえる。《2024/9/30 掲載》

★パーカーポイント 95 点:エル・タンボリルにあるため、いくつか類似点があり、凝縮感、肉のようなニュアンス、酵母、赤いチェリーの風味を持つ。ナバタルゴルド村は粗目の、ややイタリア的なタンニンを備え、2022 年にはまだだがフレッシュ感がある。力強いワインではあるが、標高が高く冷涼なため、その特徴がワインにも表れている。グラスの中で開くまで時間が必要だ。

《飲み頃:2025-2033 年 | 2024/11/22 掲載》



2019・2022 La Breña

ラブレニャ

上代価格 ￥30,000 (税抜)

JAN: 4543190306058

花崗岩由来の極め細やかなタンニンとフィネスが際立つ味わい。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 畑:ラ・ブレニャ(D.O.P. セブレロス) 標高:1,050m Alc.14.5% 2019VT:生産本数:1,579 本 2021 年 6 月瓶詰 2022VT:生産本数:934 本 2024 年 5 月瓶詰

2019VT★パーカーポイント 95 点: 洗練されたスタイルを持つブレニャはでウンブリアス(コマンド G 所有の単一畑のワイン)を彷彿とさせる繊細なアロマが感じられる。収穫は、10 月 2 日と遅く、この年は、畑の特徴やこのヴィンテージ特有のタニックなスタイルを生かすため、オークの大樽のみを使用し、より長い期間熟成させた。アルコール度数は 15% で、円熟した果実味があり、花崗岩由来の細やかなタンニンが豊かに感じられる。

《飲み頃:2022-2028 年 | 2021/11/12 掲載》

2019VT★ジェームス・サックリング 95 点: 若むしたマルベリー(桑の実)や、野イチゴ、森の下草、ホワイットペッパー、繊細なハーブのアロマにジビエや湿った土のニュアンスが仄かに香る。自然のベリーの豊かな風味を湛えた艶やかで柔らかな味わいに繊細かつチョーキーなタンニンを感じる。非常に緻密で軽やかながらも、しっかりとした存在感を放つ。《2022/10/14 掲載》

2022VT★パーカーポイント 97 点: シングルヴィンヤードの 2022 年ラ・ブレニャは、ラ・ブレニャ・プルミエ・クリュよりも繊細かつ芳醇で、エレガントさが際立つ。こちらのほうがフィネス、緻密さにおいて優れており、しなやかな骨格を持つ。ブドウが栽培されている 0.25ha の区画は、このリュウ・ディの他の場所とは異なる土壌を持つ。標高 1,050m に位置し、風化した砂質の花崗岩土壌から成り、彼らが所有するシングルヴィンヤード、ルンボ・アル・ノルテからかなり近い場所にある。ビジャヌエバ・デ・アビラ産のワインに見られるような完成度の高い仕上がりで、エレガントさやフローラルなニュアンスを備えながらも、シリアスでミネラル感もあり、きめ細やかなタンニンを伴う引き締まった味わいが印象的だ。

《飲み頃:2024-2035 年 | 2024/11/22 掲載》



2020 La Breña 1er Cru

ラブレニャ プルミエ クリュ

上代価格 ￥30,000 (税抜)

JAN : 4543190305235

ラブレニャ・プルミエ・クリュには、グラン・クリュ用のブドウが栽培される「ルンボ・アル・ノルテ」、「ラブレニャ」の区画の他、数区画のブドウのブレンドされています。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ100% (有機・ビオディナミ栽培) 畑:ルンボ・アル・ノルテ (樹齢60年の若い樹)、ラブレニャの区画、近隣の数区画 標高約1,100m 栽培面積:1ha 壌:花崗岩
生産本数:3,826本 (750ml)、2022年3月瓶詰 Alc.13.5%

★パーカーポイント 96点:コマンド G でプルミエ・クリュに位置づけられるこのワインは、ルンボ・アル・ノルテのレベルには及ばないものの、フィネスと複雑性が増している。2020年は、コンクリートタンクで熟成。非常にきめ細やかなチョークや花崗岩を思わせるミネラル感を持つ。《飲み頃:2023-2030年 | 2023/6/1掲載》



2022 Las Iruelas

ラス イルエラス

上代価格 ￥33,000 (税抜)

JAN: 4543190306140

標高1000m以上の区画の樹齢の高いガルナッチャから造られるラス・イルエラスは、北ローヌを彷彿とさせる魅惑的な花のアロマを持ち、繊細な果実味とミネラル感を持ちます。

ダニエル・ゴメス・ヒメネス・ランディの個人プロジェクトの終了に伴い、2020年より、コマンド G のラベルでリリースされています。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ100% 畑:エル・ティエンブロ (D.O.P. セブレロス) 標高約1,000m 土壌:粘板、花崗岩、砂、石英、シルト 栽培面積:1.2ha 醸造:50%はオーク大樽で、残りの50%はコンクリートタンクで熟成 生産本数:4,522本 (750ml) Alc.15%



2020VT★パーカーポイント 98点:エル・レベントンと同じく、エル・ティエンブロにある粘板岩土壌の同じ畑から、まったく同じ方法で造られたワインで、50%はオーク大樽で、残りの50%はコンクリートタンクで熟成している。2016年から、この畑では収穫は3回行っている。というのも3つのテロワールがそれぞれ全く異なる個性を備えているからだ。それ以来、このワインには正確さや繊細さ、フィネスが感じられ、地中海気候と大西洋気候の特徴がより顕著に表れるようになった。花々、ハーブ、ハチミツ、樹脂を思わせる香りに加えて、躍動感やグリップ、深み、複雑性を備えている。2020 ラス・イルエラスは、最も素晴らしいヴァンテージの一つで、最良畑の一つとして、徐々にその存在感を表し始めた。《飲み頃:2023-2033年 | 2023/6/1掲載》

2020VT★ジェームス・サックリング 97点:地中海産のドライハーブやローズマリー、タイム、ドライオレンジ、ワイルドラズベリー、ホワイトペッパーの香りを湛えたスパイシーで、風味豊かなワイン。ピリッとしたほろ苦いハーブのニュアンスがあり、ドライハーブや柑橘類の風味にパウダリーなタンニンが溶け込んでいる。上質なハーブの苦味が、このワインをユニークで個性的なものにしている。今飲んでも、熟成させても美味しく味わえるだろう。《2023/7/20掲載》